

ガレキの受け入れは、区民の理解を得ながら

東京都が宮城県女川町のガレキの受け入れを始めています。区内では光が丘清掃工場がその対象となっていますが、受け入れ時期は早くても5月以降となる見通しです。

ガレキの処理は、まず現地で仕分けを行い、搬出、積み込みの各段階で放射線測定をしたのち、基準値以下のごみを専用の容器に入れて密閉し、清掃工場まで搬送。搬送されたごみは通常のごみに10%ずつ混ぜて焼却し、残った焼却灰は埋め立て処分されるというものです。受け入れは、2週間程度で、24時間連続で焼却されます。

東京都は、12月に品川と大田清掃工場で、試験焼却を行いました。その結果、放射線量はすべて基準値以下となったとし、また現地での3回の放射線量の測定などを根拠に安全性を強調しています。

住民説明会では不安の声が次々と

一方で、2月に行われた住民説明会では「放射線量の測定頻度が少ないのではないか」「バグフィルター信頼性は大丈夫か」「基準値以下であっても焼却灰を輸送することは大丈夫か」などの不安の声が次々と出されました。

区は説明会で、区民の声に一定応え、放射線の測定やその結果を区のホームページで公表することを検討するとしています。

今回の受け入れは、被災地のために行うべき

という声がある一方、不安の声も多く出されています。ですから、そのつど説明会を開催し、放射線量の測定の頻度・個所を増やして、その情報を公表するなど、区民の理解を得ながら進めていくことが必要です。

区立幼稚園、2園廃止の見直しを求める陳情を不採択



光が丘にある区立幼稚園の、2園(あかね幼稚園・わかば幼稚園)廃止の見直しと、3年保育の実施などを求める区民からの陳情を区議会が不採択にいたしました。日本共産党は、これに反対しました。

区は、この計画を昨年9月に発表しました。しかし、区民に理解を得るどころか、入園手続き直前に説明会を実施し、既定のこととして、強引に進めようとしています。これに対して、保護者をはじめ、多くの区民から反対の声が上がりました。保護者の多くは、長年の念願だった3年児保育を実現すれば、区立幼稚園を廃止する必要はないと訴えています。区は、私立幼稚園の反対を理由に検討さえ拒んでいます。

党区議団は、子どもたちの立場に立てば3年保育の要求は、当然であり、今後の区立幼稚園のあり方をどうするのか、長期的な視点にたつて議論が必要だと考えます。今回のような区民を無視しての一方的な廃止計画には反対です。

事務所は下記の住所へ移転しました。

無料
生活相談

随時行っております

住まい・雇用・多重債務・医療等

下記へ事前にお申し込み下さい

◆島田拓事務所◆

〒176-0021 練馬区旭町1-1-15

TEL03-5997-5014 (fax兼)

◆区議団控室◆

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

練馬区役所 西庁舎7F

TEL03-5984-1014 fax03-3993-1198

◆メール:taku@shimada-taku.com



日本共産党演説会

▽ 4月23日(月) 夜6時半開場

▽ 練馬文化センター 大ホール

弁士 小池 晃

党政策委員長・前参議院議員

参議院東京選挙区予定候補
吉良よし子

前都議会議員
松村友昭

主催 日本共産党練馬地区委員会

入場無料